

震災経験を報告

美咲・華蔵寺 岩手の高校生ら

国際医療ボランティア（北区伊福町）などは、
A・M・D・A（岡山市）岩手県大槌町の高校生



被災後の思いなどを話す大槌町の高校生

らを招き、美咲町百々の華蔵寺で「慰霊・復興祈願法会」を行った。

大槌町で支援活動を行うA・M・D・Aと華蔵寺による「被災者夏休み招待プログラム」の一環。現地で組織した「A・M・D・A高校生会 in 大槌」のメンバーら高校生3人と被災直後から

民間避難所として開放された大槌稻荷神社の禰宜・十王館敷さん（51）夫妻の計5人を招いた。

菅波茂 A・M・D・A 理事

長の講話などの後、自宅が津波で流された大槌高3年三浦智理さん（18）と同澤館みさとさん（17）が「失ったものはたくさんあったが、多くの人と出会うなど良い経験もでき、感謝している」などと時折、声を震わせながら報告した。十王館さんは津波に巻き込まれた町や神社で過ごした被災者の様子を説明し、檀家ら約50人が聞き入った。

5人は30日まで県内に滞在し、県内の高校生で組織する「A・M・D・A高校生会」との報告交流会などを行う。

（松山慎二）